

伊東市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和7年12月22日（月曜日）
午後2時30分～午後4時07分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟地下1階地下会議室
- 3 出席者 委員 遠山 泰範（教育長職務代理者）
委員 辻 恵 委員 北岡 ゆうこ
委員 秋山 佳輝
- 4 参 与 教育部長 西川 豪紀 次長兼教育総務課長 杉山 宏生
教育指導課長 森田 まり 幼児教育課長 鈴木 慎一
生涯学習課長 山下 匡弘
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 石川 貴士 主幹 藤原 真紀
- 6 会議の経過

遠山教育長職務代理者：ただ今から伊東市教育委員会12月定例会を開会する。議事に先立ち事務局からの報告を行う。

（事務局から資料確認）

事務局：傍聴希望者が1人いるので、傍聴を許可するか職務代理者に伺う。

遠山教育長職務代理者：1人の方からの傍聴の申し出について、傍聴を許可したいと思うが、いかがか。

（異議なし）

遠山教育長職務代理者：承認が得られたので、傍聴を許可し、傍聴人に入室していただく。

（傍聴人入室）

遠山教育長職務代理者：議事に入る前に、会議の非公開について諮りたい。本日の日程のうち、各課報告において、教育指導課から生徒指導の報告がある場合には、伊東市教育委員会会議規則第9条により秘密会としたいと思う。賛成の委員は挙手を願う。

（挙手全員）

遠山教育長職務代理者：承認が得られたので、教育指導課から生徒指導の報告

がある場合には秘密会とする。

遠山教育長職務代理人：議事に入る。始めに、令和7年5月臨時会及び令和7年6月定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

（意見なし）

遠山教育長職務代理人：会議録を原案どおり承認してよろしいか。

（異議なし）

遠山教育長職務代理人：承認が得られたので、令和7年5月臨時会及び令和7年6月定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は職務代理人として私が署名させていただくほか、委員の署名は辻委員にお願いする。

遠山教育長職務代理人：各委員からの報告をお願いします。

B委員：11月28日に、スマイル発表会に参加させていただいた。子どもの人数、生徒の人数が増えてきたと実感した。どこの学校も工夫をした発表で、先生も児童も一緒になって練習してきたことがすごく伝わってきた。支援員の方は、やはり保護者の協力が不可欠ということで、色々なものを作ったり、練習をするにも保護者の方が一生懸命参加してくれたり、協力してくれたりという話をしていた。小さかった子がお兄さんやお姉さんになる成長も見られることを毎年楽しみにしていて、今年もとてもよかった。

C委員：私は初めてだったが、司会や映像など全部子どもたちがやっていた。舞台では支援員の方たちが黒子ではなく丸見えだったが、すごく協力していることが伝わり、手が込んだ内容ばかりだった。すごく楽しかったので、今年出た方が来年どのようなことをやるのか楽しみになってきた。

遠山教育長職務代理人：とてもいい雰囲気だったことが伝わる。関わっている保護者の方をはじめ、先生方も一丸となって素晴らしいことだと思った。他に報告事項はあるか。

（意見なし）

遠山教育長職務代理人：次に、議題に入る。報告事項の教報第15号「令和7年度冬季休業期間中における児童生徒の指導上の留意事項について」を議題とする。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理者：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

遠山教育長職務代理者：次に、教報第16号「令和7年度冬季休業期間中における教職員のサービス及び学校施設等の管理について」を議題とする。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理者：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

遠山教育長職務代理者：次に、教報第17号「令和7年度冬季休業期間中における教職員のサービス及び幼稚園施設等の管理について」を議題とする。

(鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理者：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

遠山教育長職務代理者：次に、教報第18号「令和8年度教職員人事異動の重点について」を議題とする。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理者：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

A委員：先日、北中学校の閉校が決定され、学校の動きが大きくあったと思う。北中学校から転校して新しい学校に行く子どもたちの色々な形での物心共にケアをしていくが、やはり心理面で知っている先生や頼れる先生がいるということも大きいと思う。再来年を見越して、どのような形で先生が配置されていくのか、来年の人事異動だが、再来年を見越して、色々な交流ということで南中学校にいる先生が北中学校に1回行くなど、そのあたりも含めて、そこは専門の先生方にお任せするが、そのような形で北中学校に今、通っている子たちのケアということも意識して、長期の目線で人事異動のことを考えていただければと思った。

森田教育指導課長：北中学校はあと1年なので、安定的な経営のために、ここで大きな人事異動は考えていないところだが、現在の北中学校の教員がそれぞれ

れの学校へ分かれた時に、どのような配置になるかということは、十分に配慮していきたいと考えている。既に北中学校の教職員は非常に人数が少なくなっているので、なかなか子どもたちと濃密に接触できるほどの人数が、各校に配置できるかと具体的に考えるとなかなか難しい面もあるが、できる限り対応していきたいと考えている。

遠山教育長職務代理人：ぜひお願いしたい。その他、意見・質問はあるか。

(意見なし)

遠山教育長職務代理人：次に、教報第19号「伊東市公立学校処務規程の一部を改正する規程」を議題とする。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理人：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見なし)

遠山教育長職務代理人：次に、教報第20号「伊東市公立学校学籍事務取扱要領の一部を改正する要領」を議題とする。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理人：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見なし)

遠山教育長職務代理人：次に、教報第21号「伊東市公立学校出席簿取扱要領の一部を改正する要領」を議題とする。

(森田教育指導課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理人：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見なし)

遠山教育長職務代理人：次に、教報第22号「令和7年度実施 伊東市教育機関職員採用試験について」を議題とする。

(杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理人：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

A委員：二次募集して1人だが採用される方が出て良かった。5人の募集をして結果3人だったが、足りない2名の分はどのように対応するのか。

鈴木幼児教育課長：6園の幼稚園の中で実際は5人必要だが、足りない部分については会計年度任用職員で補充していきたいと思っている。新採は必要だが、多すぎても現場が大変になる。まずは、この3人でしっかり研修を積みながら臨んでいきたい。

A委員：先生方も本当に大変な仕事をされていて、特に新任の先生は、全部が初めてなので負担がさらに大きいと思う。色々と配慮をしていただいていると思うが、採用された先生方が、長く続けていけるようなフォローの体制も引き続きお願いしたい。

遠山教育長職務代理者：その他、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

遠山教育長職務代理者：次に、その他「市議会12月定例会について」を議題とする。

(西川教育部長から資料に沿って説明)

遠山教育長職務代理者：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。ポイントになるところや、この部分は共有しておきたいということがあれば教えていただければと思う。

西川教育部長：特にポイントというところはないが、内容を見ていただいて、分からない点があれば答えさせていただく。

A委員：学校給食のことについて、物価高騰も色々な形で情報が出ているが、予算のことも色々関係してくると思う。来年度も見込みとしては継続可能ということか。

西川教育部長：物価高騰の影響で賄材料費が不足するので、補正予算を議決をしていただいたところである。特に、賄材料費は高騰で不足がちなところもあるので、それはしっかりと予算要求はしていくが、財政当局がどのように判断をするのかということである。その辺はしっかりとやっていきたいと思っている。

杉山次長兼教育総務課長：新市長となったが、来年度も給食費無償化を継続するという意向を示されているので、当局としてもそのように考え対応している。

ただ、県学校給食会を通じてお米を納入するが、来月からお米の値段が60%増しになるので、かなりの物価高騰が続く中、何とかやりくりしている。来年度も今年度同様の予算を要望は出しているが、質が落ちないように調整しながらやっていくよう考えているところである。

A委員：給食費無償化が継続されることは、各家庭でも気になっていると思うので、新市長の意向を各家庭に周知していただけると有難い。

遠山教育長職務代理者：その他、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

遠山教育長職務代理者：次に、「各課報告について」を議題とする。

杉山次長兼教育総務課長：先週の金曜日、国の方で小学校の給食費を無償化する中で、計算基準額を1人あたり5,200円とする指針が示されたのでそれに基づいて進めていく。算出根拠は、全国平均が4,700円で、これに10%増しに当たる額が5,200円である。伊東市は基準額が4,800円で、15%を物価高騰分で支援するので実際は5,550円となり、350円ほど不足する計算になる。その分をどうなるかは不明で、今後、国からの通知を見て対応していくことになる。次に施設整備のことについて、特別教室の空調設備については、既に設置・検査も9校が完了して、そこは完全に使えるようになっている。不調によって工事期間がずれてしまった富戸・池・八幡野の各小学校については、3月までには設置できるということで、少しでも早く稼働できるように考えている。続いて、北中学校の再編についての状況だが、現在の北中在校生あるいは伊東小学校の6年生に進路希望調査を聞いている。その中で、北中学校の現1年生については、全員北中学校に残ると聞いていて、3年生になったら門野中学校か南中学校を選択することになる。伊東小学校については、現在のところ8人程度が北中学校を考えていると伺っている。最後に、1月に始まる市議会臨時会の補正予算の中で、学校給食代替対応補助金制度を作り、事前に管理指導表を提出した食物アレルギーのある児童・生徒の保護者に対して支援することを考えている。これは先行して、東京都など給食費無償化をしている自治体で行っていて、それを参考にしながら制度を作ったが、基

本的には事前に管理指導表を提出した人で、完全にお弁当を持ってくる人、牛乳だけ飲んでお弁当を持ってくる人、牛乳だけ飲めない人の3パターンがある。その方に対しての補助だが、額としては年間で81万円ぐらいの予算で、人数としては20人から30人の対象と考えている。

鈴木幼児教育課長：幼児教育課から2点報告する。保育園の来年度入所調整結果ということで、一次受付分の報告をさせていただく。10月15日から11月7日が申込み期間として設定しており、一次受付を終了した。新規の申込みが112人、在園の子で転園の申込みが37人、在園の継続希望が597人で、現在の申込者総数は746人である。昨年度と比較すると、19人ほど減ったことになる。現在、入所調整の透明性を確保しており、施設の空き状況や入所調整基準の点数を市のホームページで公表しているところである。例えば、保育が必要な家庭が前提になるので、月150時間以上の就労であれば最大の10点で、両親合わせて20点が基本点数になってくる。就労時間が短ければ短いほど点数が低くなっていく。それぞれの区分によって点数化している。調整点数は、個々の基本点数に加えて、考慮すべき事項を入れているところである。このような状況を、市のホームページで昨年度から公開しているところである。また、同点の場合の対応も優先順位として、あらかじめ設定しており、例えばひとり親世帯を優先的にやっていくなど、色々と決めているところがある。今回の申込みについて、まずは、在園の方がそのまま継続するかどうかというところが一番なので、継続者の現況届を確認して、それぞれの園でそれぞれ何歳が何人空くのかというところを出した上で、転園も含めた150人を点数化して、希望園で空いている状況と点数によって第1希望・第2希望を当てはめていった。その結果、入所調整で収まるところもあったが、残念ながら希望園で全て定員オーバーしてしまい、結果保留が19人というのは昨年度の10人を9人上回っている。保留者が多かったことは、施設の空き状況を示したことで、人気の園が非常に高い調整点になり、平均点が上がったことが原因である。そのほかに、1園だけの希望で申し込んでいる方も結構多く、この園しか行きたくないという申し込みもあって、なかなかそこが人気で入所点数が低ければ、

マッチしないというところもあり、今回の保留が多くなったのかなと思っている。ちなみに、民間の保育園は人気があり、先ほどの点数でいくと平均で23点以上でないと入れない園などもある。共働きの20点だけでは入れず、プラスした調整点がなければ、人気のところは入れなかつたりする。気になる点として、保留者はどうなるのかだが、保留者に通知を出し、希望園を増やしていくかどうかという意向を確認している。空いている公立園を希望されたら入ってくるかなというところはある。そこは保護者の返答次第になるので、この19人の回答待ち状況になっている。現在、一次申込み期間後に出生した子と、申込み期間終了後に伊東市へ転入してきた子を対象にした二次募集を行っている。一次募集と追加の二次募集を行い、保留者の希望園の調整をしていきたい。理想としては、希望園を増やしていただきながら、全員が保育園に入れる状況を作っていきたいと考えている。続いて、将来のこども園化を見据え、幼稚園・保育園の職員、幼稚園教諭と保育士の人事交流を目指していきたいと示している。具体的には、来年度の4月から幼稚園・保育園間の人事を一本化していくことで、幼稚園から保育園に異動、保育園から幼稚園に異動のような人事をやっていきたい、それぞれ幼稚園教諭と保育士で、別々の採用だったものを1本にしていきたいという意向を持っていたが、職員組合の保育園支部からも説明会を何度か行ったところ、調整事項が多くあることから、来年度からの人事異動を先送りし、その間に幼稚園と保育園双方で必要な事項をすり合わせる機会を設け、不安を払拭した上で行ってほしいという要求が示された。こういった内容と現場職員の異動に関する意向調査を取りまとめたところもあり、その内容を踏まえて、再度、市長にもこういった人事の方向性を確認しながら、どのように進めていくのかは決定していきたいと思う。

山下生涯学習課長：生涯学習課は3点ほどある。1点目、第26回しずおか市町対抗駅伝競走大会である。優勝は市の部は浜松市北部が2時間10分33秒で2連覇、町の部は清水町が2時間17分31秒で、こちらも昨年に引き続き2連覇という結果であった。本市代表チームの成績は、2時間23分54秒で昨年と同じく市の部第21位という結果だった。歴代最高タイム2時間21分

43秒を目標にしていたが、インフルエンザで病み上がりの選手もいて、目標には届かなかったものの前回のタイムは上回ることができた。本市で区間最高順位は6区を走った土屋拓巳さんの9位であった。2点目、二十歳式について、該当者は平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方で、市内在住者が418人、市外に住所がある方からの申込みが59人で、合計477人となっている。中学校別申込者数は235人で、この中には、記念品贈呈対象となる欠席の申込みをした方19人も含んでいる。申込率は現在49.2%となっている。昨年同様、会場には20歳になる方のみ入場となる。壇上には、市長、教育部長、実行委員長をはじめとした実行委員、来賓として市議会議長、県議会議員、社会教育委員長に登壇いただく。最後に、第60回伊東オレンジビーチマラソンである。教育委員の皆様には顧問として就任していただき、パンフレットに名前を記載させていただいている。

遠山教育長職務代理者：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

A委員：生涯学習課の二十歳式だが、申し込みの割合が昨年に比べてほぼ半分になってしまっているが、何か理由や原因が分かれば教えていただきたい。

山下生涯学習課長：確かに、昨年はもう少し申込みがあったが、今年に関しては理由は分からないが下回っている状況である。12月17日先週の数字だったので、引き続き申込みは受け付けているので、増えてくるかと思う。

A委員：幼児教育課の保育園入園のことで、明確に点数が分かって、自分が該当するかどうか非常に分かりやすくていいと思いつつ、100件以上のチェックを全部して大変な作業だと思う。本当に丁寧に進めていただいてありがたいと思う。保留者の方が、どこかに入っていたけるといいなというところで、この辺は皆さん、1園でどうしてもここということは最初強いだろうが、状況によっては毎年、ある程度振り分けられて少なくなっていくという印象なのか。それとも、保留が続いてしまうようなことがあるのか。

鈴木幼児教育課長：1園のみの申込みは、育休延長を目的としていることも考えられるので、保護者には再度空き状況を公開して、希望者が全て入所できるように、こちらからも働きかけていきたいと思う。公立を案内していけば入所

できるところはあるので、案内していきたいと思う。

A委員：要求書で、前々から色々と交流のことを進めていただいているが、色々と難しい部分があるのかなというところである。これは、先送りして双方で話し合いをしていけば、最終的には歩み寄れるような予測はあるのか。

鈴木幼児教育課長：宇佐美の子ども園化を念頭に、保育園園舎の耐震性も考え、令和10年度の建て替えを目指していきたいと話した上で、幼児教育を今からもっと知る必要があるのではないかと説明をした。ただ、保育指針の中では養護と教育を一体的に行うことが「保育」であるという考え方があって、今やっている保育園の保育と幼稚園でやっている幼児教育がどう違うのかというところが、我々も説明がそこまでしっかりできていなかった。保育園だけでなくずっと勤めてきた保育士にしてみても、そこがピンとこないところだろうと思うので、その点については少なくともしっかり説明やすり合わせをしていかないとこのような不安はなかなか払拭できないという実感がある。

A委員：人事異動で1年間ここでというようになってしまうと重たいので、例えばイメージを高めるという意味でも、保育園の先生が幼稚園の方に1週間や2週間、滞在して一緒にやってみるなど、そういう形の段階的交流のようなことができれば、そのイメージという部分では少し近づくのかと思ったが、色々な形があると思うので、引き続きお願いします。

遠山教育長職務代理者：その他、意見・質問はあるか。

D委員：幼児教育課の要求書について、この要求書は保育園支部からだと思うが、幼稚園の方から要求は具体的に出ているのか。

鈴木幼児教育課長：幼稚園の方からは、職員組合の支部からの要求も特にない。同じ説明会をやった中でも、幼稚園側からは、幼稚園が3歳からの教育の中で、こども園になった時に、乳児の対応が現場としても不安なところもある。逆に、早く保育園の方で乳児の経験をして、こども園に備えていきたいという声は実際のところある。そこが幼稚園の方は、今やっている事に、乳児の今までやっていなかった保育が加わることから、早くという意向の声はある。

D委員：幼稚園側と保育園側で人事のコミュニケーションや意見交換などは、

日常的に何かあったりするの。

鈴木幼児教育課長：交流はない。例えば、保幼小連携などの研修の場や同じ学区の中での研修会で会ったりすることはあるのかもしれないが、幼稚園の先生と保育園の先生たちが1つの場で何かやっていくようなことはない。

遠山教育長職務代理者：その他、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

遠山教育長職務代理者：最後に委員の皆さんから、全体的に意見・質問があるか。

C委員：一昨日の土曜日に上原力也さんのサッカースクールの参加者の方々や選手が宿泊された。同じタイミングで横浜高校の監督と選手も泊まった。両方も、子どもにとってすごくいいイベントだと思った。上原さんの方は伊東のチームだけではなく違う地域の小学校3・4年生も集まるが、食事は同じ会場でするのでチームのカラーが出る。最後まで先生の前で半分泣きながら食べている子や、ジャンクフードの方が良かったと言う子もいた。話しかけると、知らない私でも普通に受け答えしてくれる男の子や、指導者の方がどういう方かで、厳しめのチームに出来上がるのか、楽しみを含めたようなチームに出来上がるのか、お風呂の過ごし方など、1日過ごした中で、だいぶ毛色が違うということを感じた。関わる大人が子どもにとって教育はこういうことだと、教えることだと思った。先生や親ではない大人たちも子どもにとっては学びの場だと思った。あと、人数が多いチームと少ないチームの参加者もいたが、全然知らない学校の子ともサッカーをやるなど、集団の中でどのように自分が振る舞うかなど、子どもにとっては、すごく刺激のある、これから社会に出るための勉強やトレーニングの1つになることを感じた。

遠山教育長職務代理者：貴重な経験をされて、それこそ関わったことのない初めての人に、同世代にしても大人にしても色々な形で会っていくということは、本当に大きな経験だと思う。

山下生涯学習課長：野球とサッカーについて、生涯学習課の方でも関わりがあり、私は土曜日のサッカーと日曜日の野球に行ってきた。サッカーは8チーム

来て、県外から6チームで、1番遠くは京都から朝4時に出てきたチームがあった。当日、土曜日の10時から開会式があって、上原力也選手やこの大会に賛同してくれたプロサッカー選手とウォーミングアップをした後で、総当たり戦をやった。そこでは、「とにかく楽しむ」という気持ちを持った上で、「真剣に取り組む。」というようなことを上原選手はおっしゃっていた。子どもたちもそれに則って試合をしていた。野球の方だが、横浜高校は夏の甲子園大会に出場した選手が中心で、ロッテに入団する生徒が1人、それ以外の子はアンダー18の日本チームに入っている子が数人いた。その子たちが伊東と下田の学童野球の児童と一緒に練習を楽しんだ。横浜高校の皆さんは普段から子どもたちと一緒に練習をする機会を多くもっているようで、確かに教えることが上手で、子どもたちもすぐ懐いてしまい、さすがだなと思った。全国優勝するようなチームの生徒の体つきは、普通の高校生と全然違うという印象を持った。前日の土曜日にも未就学児に対して「野球に親しもう」という目的で教室を開いてくれた。伊東市の子どもたちに指導というか、野球の楽しさを教えに来てくれたような形で、また来年も来ていただけるか分からないが、上原選手の大会も含め、このような機会を提供し続けられると、子どもたちにとって非常に良い経験になるのではないかと思っている。

C委員：不登校の子どもも、何かのきっかけで急に学校へ行く気になったなどの話も出てくるので、例えば何か教室に出ることが1つのきっかけになればいいなと思った。ぜひ続けてもらえたら嬉しいと思っている。

遠山教育長職務代理者：学校での学問的な学びも大事だが、色々な人と会ったり、色々な経験を通して学べたりすることも大切だと思うので、引き続きお願いする。

A委員：オレンジビーチマラソンは、前回よりも参加人数が増えたのか。

山下生涯学習課長：そうである。

A委員：良かった。私もよく応援に行くが、とても盛り上がっているので、皆さんも一緒にぜひ盛り上げていただきたいと思う。

遠山教育長職務代理者：最後に、教育指導課から生徒指導の報告を行う。こち

らは秘密会になり、非公開案件となるので、傍聴人はこちらで退室をお願いします。

(傍聴人退出)

(傍聴人退出後、秘密会として生徒指導報告がされた。)

遠山教育長職務代理者：今後の日程について確認する。

事務局：1月の定例会については、1月26日(月)午後2時30分を予定している。2月の定例会については、2月19日(木)を予定とする。

遠山教育長職務代理者：以上で、伊東市教育委員会12月定例会を終了する。

以上のおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長

委員

書記